

# ドイツ国際平和村

## 国を越えて・・・

ドイツ国際平和村。紛争地域や危機に瀕した地域の子供達を国を超えて助けるためにドイツの市民の手によって1967年6月に設立された非営利の慈善団体です。最近マスメディアでも取り上げられることが多くなってきたので知ってる人も多くなかな？今回は、このドイツ国際村が取り組んでいることを紹介します。

## ヨーロッパでの治療

紛争などで傷つき、母国で治療することが困難な子供達に、ヨーロッパの進んだ医療を提供しています。子供達は飛行機でドイツに到着した後、空港で待機している救急車で病院へと運ばれます。多くのヨーロッパの病院が、子供達の治療を無償で行ってくれるのです。手術が終わると子供達は、ドイツ北部、オーパーハウゼン市にあるドイツ国際平和村の施設へとやってきます。このオーパーハウゼンの施設で他の子供達と共同生活をし、リハビリを繰り返しながら帰国の日を待つのです。帰国までの間、子供達は、年齢や国籍の違う様々な仲間と一緒に遊んだりスポーツをして過ごします。全ての

治療が終わり、愛する家族の元へ戻るまでに、短い子供で半年、長い子供では2、3年かかります。子供達はその日を待ちながら、ドイツでの日々を送ります。オーバーハウゼンの平和村には、平均して15の国から来た子供達が常時150人ほどいます。子供達に関わる全ての費用は、寄付金とメンバーからのお金で運営されています。

## 各国の平和村作り

ドイツ国際平和村は、子供達の母国でも活動を行っています。それが「プロジェクト」とよばれているものです。プロジェクトは子供達の母国の医療ケアを促進させるために作られました。子供達への支援を、その子供の母国で、そしてその国の人々の手によって行えるようにすることがプロジェクトの目的です。プロジェクトの進んだ国では、生きるためにヨーロッパに必要のあった子供達が、母国で治療を受けることができようになります。もちろんプロジェクトや治療は、それぞれ国の特有の必要性に応じたものでなければなりません。

## 平和教育

施設を平和教育のために生かしているようなのですが、このことは詳しく記述されていないので、わかり次第記事にします。

## 戦争とは？（HPより）

いま現在子供達が助けを必要としている国はたくさんあります。近年、それらの国々の名前は、戦争勃発、災害、飢餓といったニュースの見出しを飾り、消えていきました。しかし、メディアから消えている間も、アフガニスタンとアンゴラは、束の間の安全さえ保証されることもなく、長い間平和を手にすることはありませんでした。この国々の名前が人々の記憶からうすれても、子供達の悲しみと痛みは消えたわけではありません。この2つの国では、世界有数の地雷被害国として知られ、人々は脅かされながら生活しています。また、さらに、ベトナムの子供達は1975年に終わった戦争の被害に今なお苦しめられています。生まれつき障害を負った子供達が、沢山の毒兵器により、戦争後の世代も苦しみが受け継がれ続けているのです。

## 編集後記

子供は生まれてくる場所、親は決められない。けれどみんな平等なはず。僕は物質的に恵まれた先進国「日本」に生まれて不自由なく暮らしています。食べ物捨てることがありません。電気などのエネルギーも無駄使いすることもあります。「飢え」や「病氣」で苦しんでいる仲間が沢山いる現実を「見て見ぬフリ」をしては絶対にいけないと思う。世界の全ての子供が笑顔で幸せに平等に暮らせる世の中になるために出来ることを進んでやってみよう！

## 寄付金口座

東京三菱銀行  
東京営業部  
普通口座

口座番号：2680343

口座名：ドイツ平和村

PRIVATE

